

Title	共同研究：能の演出史研究（2）
Author(s)	
Citation	演劇学論叢. 2001, 4, p. 130-130
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/97563">https://doi.org/10.18910/97563</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## ■ 共同研究

# 能の演出史研究 (2)

### 〔第1回報告〕

《弱法師》演出の研究……………	宮本 圭造
『藤永』のアイ……………	伊吹美保子
— 『観世流仕舞付』の記事をめぐって—	
男物狂いの扮装に関する一試論……………	長田あかね
— 黒垂と梨子打鳥帽子の併用をめぐって—	
《豊干》の演出をめぐる諸問題……………	天野 文雄
『観世流仕舞付』と『珍鋪能仕舞付』……………	中嶋 謙昌
— その享受をめぐって—	

前号にひきつづき、『観世流仕舞付』を中心にした報告を掲載する。共同研究としてこのような報告を掲載するにいたった経緯については前号の緒言に記したが、今回は三本の報告を載せることができた。いずれも能の演出史研究として貴重な報告であり、この調子であと数回つづけられたら理想的だと思ふのだが、物事はそんなにうまくはゆかないもので、たぶんこれが最後になるものと思う。なお、『観世流仕舞付』は現在、最初の紹介者である藤岡道子氏を中心に伝存する第二巻と第六巻の翻刻作業が進んでおり、そう遠くない時期に和泉書院から刊行される予定である。それが刊行されれば、『観世流仕舞付』を用いての研究は一気に増大することが予想されるが、それにつけても、この報告はこのあたりがやはり「しお」（『観世流仕舞付』）にみえる「時機」を意味する言葉」というものであろうか。（平成13年10月25日 天野文雄）